



環境技術開発の加速により、 自ら掲げた高い目標の達成を目指すとともに、 持続可能な循環型社会に向けた変革の一翼を担っていきます。

大量生産・大量消費の社会モデルから脱却し、 新しいビジネスモデルの確立へ

気候変動による被害が世界各地で多発し、地球環境問題は人間社会に大きな危機をもたらしています。また、市場では、天然資源の枯渇や価格の高騰、環境規制の厳格化などがビジネスの動向に大きな影響を与えています。このような私たちを取り巻く環境の劇的な変化は、これまでの社会や経済のあり方そのものを問うています。私たちは、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会から脱却し、新しい価値観とルールに基づいた社会へと変革を遂げていく必要があります。オフィスの皆様に画像機器とソリューションを提供するリコーグループのビジネスも、転換期を迎えています。資源やエネルギーを大量に使い、物を大量に販売する従来のビジネスモデルは、もはや成り立ちません。同じ製品をお使いいただきながらソフトウェアをバージョンアップすることで常に最新の機能をご利用いただけるような、新たなビジネスモデルの構築に、私たちの進むべき道があると確信しています。

人類全体のため、 あるべき社会の実現に向けて行動する

人類社会は今、大きな分かれ道に直面しています。これまでのやり方を何ら変えることなくその結果破滅に至るかもしれない道と、環境負荷の小さな持続可能な社会を実現するために環境負荷を計画的に減らしていく道です。選ぶべき道は後者しかないことは明らかですが、変革には国家、地域、企業、個人などのさまざまなレベルでの利害の対立があり、その実現は非常に困難です。しかし世界が正しい道へと方向転換するためには、今すぐに必要なあらゆる手段を総動員して取り組まねばなりません。自主的な活動はもとより、市場メカニズムの利用や法規制などが必要となる場合もあるでしょう。企業は競争によって成長するものです。そしてそれを促すものが市場メカニズムであり、時として適切な規制なのです。人類はこれまでさまざまな問題を克服して発展してきました。地球環境問題

を克服するために本当に必要な変革であるならば、どんな困難も乗り越えて立ち向かわねばなりません。この変革の波に立ち向かい、適応できる企業こそが21世紀の勝利者となるのです。ぜひともこの状況をチャンスに変えて、あるべき社会の実現に向けて行動していきたいと思います。

3分野での環境負荷削減プラス 生物多様性保全の4本柱で、 地球環境問題への取り組みを強化

リコーグループは、地球環境保全を地球市民である自分たちの使命と捉え、環境保全と利益創出を同時に実現する「環境経営」を掲げ、積極的な環境負荷削減活動に取り組んできました。そこには、環境問題をコスト要因としてのみ捉えるのではなく、環境への適切な対応が経済的な観点からも合理的な行動であるという確信があります。また、環境問題は短期的に解決できるものではなく、長期的な視点に立って着実な活動を行う必要があることから、2005年には、2050年までに先進国は環境負荷を総量で1/8に減らす必要があるという認識を「2050年長期環境ビジョン」として表明しました。そして、2009年3月、このビジョンに向けた具体的なステップを明らかにした「中長期環境負荷削減目標」を策定しました。これは2020年と2050年を照準年として、省エネ・温暖化防止に省資源・リサイクル、汚染予防を加え、世界で初めて3分野での環境負荷削減の数値目標を示したもので、この目標を3年単位の行動計画に織り込んで、ライフサイクルでのCO₂排出の削減、資源枯渇の動向を視野においた省資源化の推進、環境リスクを極小化するための化学物質管理・削減をターゲットに、全員参加の活動を推進しています。また、地球環境保全では、環境に与えるダメージを減らす一方で、地球の再生能力の維持・回復を助けることも重要です。2009年3月には「リコーグループ生物多様性方針」を策定し、事業活動において生物多様



代表取締役 社長執行役員 **近藤 史朗**

性に配慮する具体的な方針を明らかにしました。これに基づいて、サプライチェーン上流を含む事業活動全体が生物多様性に与えている影響を把握し、環境負荷削減の3分野と同様に、経営の責任としてその影響の低減に取り組んでいきます。

革新的な環境技術開発で ダントツ環境トップランナーとして、 持続可能な社会の実現に挑戦

激動する21世紀の社会・経済を新たな価値へと導く鍵を握るものは、私たち産業界が行う徹底した「環境技術開発」であり、そこから導かれるものは産業革命にも匹敵する変革です。リコーグループは、長期目標から今やるべき高い目標を導くことにより、製品の使用電力削減などの環境性能の向上と使いやすさを両立する技術や生産のエネルギー消費を少なくするプロセス革新技術の開発、製品の小型・長寿命化、再生資源の積極的な利用により新たに地球環境から採取する鉱物・

化石資源量を大幅に抑制したものづくりの実現、および枯渇リスクの高い主要材料や人体および環境へのリスクの高い化学物質などの削減・代替など、突出した環境技術開発に取り組んでいます。

そして「環境産業革命」の中で大きな成果と利益創出を同時実現するダントツ環境トップランナーを目指すとともに、変革に貢献する担い手の一員として、地球環境と私たちの社会・経済が共に繁栄する持続可能な社会に向け、たゆみない挑戦をしていきます。しかしそれは、私たちだけの努力で実現できるものではありません。リコーグループは、今後も、お客様、仕入先企業、株主・投資家、NGO/NPO や市民など、世界中のステークホルダーの皆様と力をあわせて持続可能な社会の実現に貢献し、地球環境とともに成長し続ける企業を目指します。